

旅をしながら演劇を楽しむローカル鉄道演劇！

シアターキューブリック結成15周年記念ローカル鉄道演劇二本立て公演第一弾

ことでん スリーナイン

作・演出 緑川憲仁 音楽♪オオゼキタク

爽やかな讃岐をゆくレトロ電車で繰り広げられる、
ノスタルジックな女子旅ファンタジー。



運行日 2015年9月19日(土)～23日(水・祝)
会場 ことでん電車内(香川県)

共催:高松琴平電気鉄道株式会社
後援:香川県 公益社団法人香川県観光協会 高松市 丸亀市 綾川町 琴平町 まんのう町
協賛:高松信用金庫

「はじめまして」のふるさとは、水色の記憶。

切ないほどに爽やかな風が吹く高松の街。
お城のそばから出ている小さな電車に乗る。
電車は家と家のあいだをすり抜けて、ことことと乗客を運ぶ。
生まれる前に引っ越したため、当時の記憶はない。
そこで暮らしていた父への記憶も。
ある駅を過ぎると、線路は大きく右にカーブを描き、
やがて昔話に出てくるようなおむすび山が私たちを出迎えた。
久しぶりの風景にはしゃぐ二人の姉。
私は浅い眠りのような感覚に包まれたまま電車に揺られ、
水色のウエハースで作ったような古い駅舎を持つ滝宮に降り立った。
駅を出て、ふと空を見上げたら、胸の内側の何かが弾けた。
年の離れた二人の姉と、私。
不思議な女子旅は、この時にはもう始まっていた――。



キャスト 谷口礼子 敷名めぐみ ほしあいめみ 大沼優記 伊藤十樂成 片山耀将

スタッフ 作・演出:緑川憲仁 音楽:オオゼキタク 宣伝美術:川本裕之 宣伝写真:坪内政美 WEBデザイン:岡下明宏
まちあるき監修:総務省地域創造アドバイザー 向後功作 衣装:パンダ倉 ヘッドマークデザイン:伊藤社
制作:漢那悦子 川本恵理子 梶典子 柴崎貴子 佐藤初美 奥山静香 市場法子 製作:一般社団法人シアターキューブリック

タイムテーブル 往路出発～復路到着時刻

	19 (土)	20 (日)	21 (月・祝)	22 (火・祝)	23 (水・祝)
第1便 8:57発 (12:15着)	●	●	●	●	●
第2便 10:57発 (14:15着)	●	★	●	☆	●
第3便 12:57発 (16:15着)	●	●	●	●	●

*出発・到着(乗車・降車)は仏生山駅です。
*前半30分+後半30分のお芝居の間に滝宮駅で下車、まちあるきがあります。
*★、☆はイベント列車になります。お芝居の上演はありません。

チケット

4,500円(特別硬券・仏生山駅～滝宮駅運賃込み)

イベント 3,500円(お弁当つき・仏生山駅～滝宮駅運賃込み)

チケット販売

○ことでんスリーナイン公演ページ <http://qublic.net/kotoden999/>
○ことでん瓦町駅窓口

ことでん スリーナイン	第1便	第2便	第3便	イベント
9:00	8:57 往路			
10:00		9:26 まちあるき		
11:00		10:57 往路		
12:00	11:47 復路	11:26 まちあるき	12:57 往路	10:57 往路
13:00			13:26 まちあるき	12:30解散
14:00		13:47 復路	14:15 まちあるき	
15:00			15:47 復路	
16:00			16:15 復路	

ことでんのアイドル、ことちゃん！

一目見たらきっとあなたも虜になること間違いない。
駅に電車に、ことでんが走るところには、ことちゃんがいっぱい！
ことちゃんのtwitterアカウント @irucakoto



滝宮駅周辺のまちあるき

お芝居の前編が滝宮駅で終わると、約2時間のまちあるきの時間。下車後、物語のサイドストーリーを辿るまちあるきのご案内をいたします。まちをぐっと楽しめるガイド付き有料プランもあり！ガイドと一緒にまちあるきをするもよし、川沿いを散歩しながらうどんを食べに行ってもよし。滝宮の町を存分にお楽しみください。あなただけの物語がきっとみつかります。



ことちゃんとゆくお楽しみツアー

仮生山→滝宮の車内は出演俳優とことでん社員さんの旧型車両と沿線ガイド。滝宮駅到着後は周辺のことでん車両撮影ベストスポットなどをシアターキューブリック俳優・千田剛士と榎本悟がガイドします。

※滝宮で解散後、復路は各自の旅をお楽しみください。共に12:30解散の予定です。イベント列車のみ車内の写真撮影フリーです。

ことでん沿線のオススメはこれだ！！



ここがいいたいどこなのか分からなくなる!?



なめらかな美肌の湯でリフレッシュ!



ことでん100年の歴史へタイムスリップ。

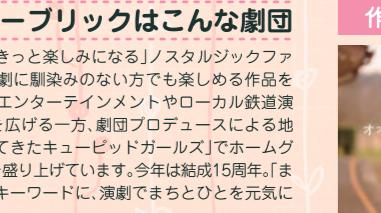
おむすび山

香川県には子供が書いた絵のようなシンプルな形の山がいくつもあります。ことでん沿線にも飯野山、堤山、白山など、可愛らしいおむすび山を見ることができます。これはピュート地形と呼ばれる周辺地域独特の地層が影響し、長い年月を経て出来上がった地形です。どの山も形がとても似ていますので、車窓に次々と現れるおむすび山を見て、いったい自分がどこにいるのか分からなくなったりします(笑)。

仏生山温泉

法然寺門前町の中心的存在の仏生山温泉は、2005年にオープンした和モダンな雰囲気の温泉施設。木のぬくもり溢れる露天風呂に注ぐ重曹泉は、驚くほどヌルヌルの肌ざわり！低温浴の寝湯では、持ち込みOKの本を開きながら長湯している人もちらほら。ことでん乗車券と温泉入浴券がセットになったお得な割引きっぷもあります。

ことでん沿線には大正・昭和の時代を支えた鉄道遺産がたくさんあります。いままだ現役で活躍する滝宮駅舎や綾川橋梁をはじめ、役目を終えた屋島ケーブル駅や畠田変電所も当時の姿のまま残されています。レトロ電車でことでん史跡めぐりの旅……、もうそこは大正時代かも知れません。



シアターキューブリックはこんな劇団

2000年結成。「明日がきっと楽しむなり」ノスタルジックファンタジーを基調に、演劇に馴染みのない方でも楽しめる作品を上演しています。歴史エンターテインメントやローカル鉄道演劇などで全国に活動を広げ一方、劇団プロデュースによる地域密着アイドル「帰ってきたユーピッドガールズ」でホームラウンドの東京・墨田区を盛り上げています。今年は結成15周年。「まち・あそび・れきし」をキーワードに、演劇でまちとひとを元気にする挑戦を続けます。